

2025年スタート

新しい自分を発見する年に!

二〇二五年がスタートしました。今年巳年(蛇年)です。蛇は成長する過程で何度も脱皮し、新しい皮へと生まれ変わります。生徒の皆さんは、臆することなく様々なことにチャレンジし、新しい自分を発見する年にしてほしいと思います。完璧にこなさなくても良い、誰かと比べなくて良い、自分の出来る範囲でベストを尽くすことが成長に繋がります。我々教職員は北高生の底力を信じています。

本校では、一月十四日(火)に冬季休業明け始業式を行いました。生徒の皆さんの健康を考慮し、底冷えする体育館ではなく視聴覚室で行いました。

校長先生からは、『笑う門には福来たる』と言う。休み明けも楽しく笑顔で過ごしてほしいというお話しと、ある親子の実話を元に「人はどうしても悪いところばかりを見てしまうが、欠点は誰にでもある。ぜひ、皆さんの『心の目』で周りの人の『素晴らしい点』を見てほしい」というお話しを頂きました。人の欠点を見るよりも素晴らしい点を見た方が、自分の心も豊かになるでしょう。生徒の皆さんの心が今以上に豊かになれば、今以上に思いやり溢れる北高になることでしょう。



令和7年1月29日

1月号

発行: 宮古北高等学校



吹奏楽部ウィンターコンサート開催! ~昨年度に続き2回目~

1月11日(土)本校音楽室で、吹奏楽部ウィンターコンサートが開催されました。家族や地域の方々等と共に楽しい時間を過ごしたいという部員の熱い気持ちで昨年度から始まり、今年度で2回目となります。当日は昨年度に引き続き吹奏楽部顧問が所属する「トロンボーンアンサンブルやまなし」さん、さらに顧問の知人の笹本さんもご出演くださり、部員との合同演奏等でコンサートに華を添えていただきました。実行委員長の「ロックからバラード調の音楽まで、たくさんの種類の演奏をお楽しみください」との挨拶がありました。吹奏楽部と笹本さんによる「千本桜」の後、部員3名のみによる「365日の紙飛行機」を演奏しました。3人で息を合わせ演奏する姿は部員の成長を感じさせるものでした。再び吹奏楽部と笹本さんによる「さよなら またいつか!」「水平線」と続き、次は三浦校長先生のベースも加わり「ルパン三世のテーマ '78」を演奏しました。「トロンボーンアンサンブルやまなし」さんの演奏は、トロンボーンのための組曲より「Iファンファーレ」「III子守歌」「IVフィナーレ」、「糸」、「マツケン・サンバ パートII」で、息の合った素敵な演奏で、聴衆を魅了するものでした。合同演奏の「Paradise Has No Border」でフィナーレのところ、聴衆からアンコールがかけられ、出演者全員による「ルパン三世のテーマ '78」で締めくくりました。部員にとって有意義な時間となりました。聞く側も楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。



宮北の森 一学年修学旅行報告

一月二十二日(水)、今年度十回目の宮北の森が行われました。今回は二学年による修学旅行報告でした。自主研修の班ごとに、パワーポイントで資料を作り、プロジェクターを用いて報告する形で、視聴覚室で行われました。楽しく充実していた修学旅行の思い出が蘇り、報告にも熱が入っていました。ユーモアを交えながら報告した班もあり、全ての班の報告が大変立派でした。一学年は来年度の参考にしよう、また三学年は昨年度のことを思い出しながら、それぞれ真剣に聴いていました。



第二十八回宮古下関伊高校芸術展

一月二十五(土)〜二十六(日)、イストピア宮古において開催され、本校からは、写真部、茶華道部の作品が展示されました。二十五日には華道講習会も開催され、本校茶華道部員もご指導いただきました。他校生徒の作品に触れ、多くの刺激を受けました。また、テーマ募集において、二年大下 真寿さんが優良賞を受賞しました。おめでとうございます!



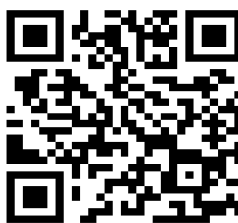
お知らせ

学校ウェブページ、ノートへのアクセスがしやすくなるようQRコードを載せます。ノートのページでは主に行事での様子を写真中心にお伝えしていきます。ぜひアクセスしてください。

学校ウェブページ



ノートのページ



宮古北高校では、体験学習や探究活動を推進し、思考力・判断力の育成に努めており、また、職業理解を深めるフィールドワークや、地域での農業体験を行うなど、学校全体でキャリア教育に取り組んでいます。学校規模としては大きくはありませんが、生徒が主体となり力を合わせて教育活動を展開しています。生徒のボランティア活動を充実させ、地域に貢献して参りますので、ご支援ご協力をお願い致します。

令和七年一月二十九日
文責 宮古北高校副校長